

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成25年度事業)

事業の概要		根拠法令・例規等	都市計画法、土地区画整理法
事業開始年度	平成10年度～		
総合計画	大項目 基本目標	05 生活環境政策「快適・活力」	問 担当課(室) まち計画課 合 職・氏名 第一係長 藤原雅弘 電 話 0869-64-1834 このシート作成に要した時間 1.5 時間
	中項目 基本施策	08 快適な生活が送れるまち	
	小項目 施策	30 秩序ある土地利用と良好な市街地の形成	
事務事業名		05 土地区画整理事業	

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	市の活性化と定住化のため	
目的(何のために)	都市基盤の整備や、密集地の環境改善など一定地域を総合的に整備し、合理的な土地利用を図り、新たな都市拠点づくりを進めるため	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	約40年間、休止状態になっている当事業について事業の見直しを行い、整備方針を決定し推進することにより、良好な街並み形成を図る	

事業の実績		事業の説明	優先度
目的を達成するため実施した事業	細事業名	土地区画整理事業	○
	事業の説明	都市計画区域内の土地を、公共施設の整備や宅地としての利用を図るため、土地区画整理法に基づいて行う土地区画整理事業に関する事務	
	事業費		
	必要人員		
	事業費		
	国庫支出金		
	受益者負担金		
	繰入金		
	市債		
	その他()		
一般財源	107	2,676	
受益者負担比率	%	-	-

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	事業費	千円	0	0	2,310
	必要人員	人	0.01人	0.00人	0.05人
	事業費	千円	107	0	366
結果指標	結果指標名	単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
	事業見直しに伴う代替案作成	説明	現計画案を見直し、縮小等含めて再検討を行う		
	結果指標量	件	0	0	0
	対前年比	%	-	-	-
	活動コスト	円	107,000	0	2,676,000
単位当たりコスト		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

事業の成果		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
事業見直しに伴う代替案作成	成果指標名	目標値(A)	0	0	0	1
		実績値(B)	0	0	0	到達目標値
		達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	1
成果指標設定の考え方・式や説明						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	必要性	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	C
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託合)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	C
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNP0、ボランティア団体等が参画している	C

進行年度(H25年度)の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
				○					
説明		事業内の地権者に対し、アンケート調査を行う							

総合評価		総合評価
今後、整備手法、工程等を再構築し、調査地区の検討課題解消に向けて早期に取り組む必要がある		総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い

平成26年度の方向性・取組目標		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
				○					
取組目標		アンケート結果や住民に意見も参考にしながら、事業の代替案を作成し、方針を決定する							

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな